

第 6 章 合同委員会

6.1 議事次第

令和6年度 東北農政局管内国営事業総合技術支援業務 合同委員会

開催日時：令和7年3月11日（火）15:00～17:15

開催方法：対面 Web 併用会議

仙台合同庁舎A棟7階会議室、Teams

議 事 次 第

- | | | |
|---|-----------------------------------|-------------|
| 1 | 開会 | 15:00 |
| 2 | 挨拶：東北農政局 農村振興部長 | 15:00～15:05 |
| 3 | 委員紹介 | 15:05～15:10 |
| 4 | 各地区の検討課題と結果報告 | 15:10～17:00 |
| | ・業務概要(15:10～15:15) (5分) | 資料1 |
| | (1) 浅瀬石川二期地区(15:15～15:50) (35分) | |
| | 中泉排水機場の耐震補強工事における施工計画について . . . | 資料2 |
| | (2) 山王海葛丸地区(15:50～16:25) (35分) | |
| | 稲荷頭首工の改修工事における施工計画について | 資料3 |
| | (3) 母畑地区(16:25～17:00) (35分) | |
| | 千五沢ダム取水塔の補修工事における施工計画について . . | 資料4 |
| 5 | 全体質疑応答 | 17:00～17:15 |
| 6 | 閉会 | 17:15 |

6.2 出席者名簿

令和6年度 東北農政局管内国営事業総合技術支援業務 合同委員会

出席者名簿

【委員長】

【委員】

[illegible]

五十音順

【東北農政局 農村振興部】（対面出席）

荻野 憲一	部長
平山 和徳	地方参事官(各省調整)
石上 貴	設計課 工事検査官

【東北農政局 津軽土地改良建設事務所】

長野 誠司 所長
菅野 勉 次長
伊藤 美紀雄 工事課長
窪野 士郎 企画官
田中 智大 設計第2係員

【東北農政局 山王海葛丸農業水利事業所】

藤田 新二郎	所長
櫻井 久志	工事課長
安田 政照	工事課 設計係長
降幡 涼介	

【東北農政局 阿武隈土地改良調查管理事務所】

木村 宗夫 次長
山口 誠司 保全整備課長
佐藤 純 保全整備専門官
龍野 大輝 保全整備係員

【東北農政局 土地改良技術事務所】

親泊 安次	所長（対面出席）
川名 久喜	次長
吉田 正則	企画情報課長
嶋貫 寿治	建設技術課長
川崎 孝信	専門技術指導官(研修広報)
佐藤 寿幸	専門技術指導官(施設管理)
本間 唯史	専門技術指導官(保全技術)
小野寺 孝一	専門技術指導官(土木技術 1)（対面出席）

[illegible]

[illegible]

(b) (5) DPP, (b) (5) ACP

██████████	████████████████████
██████████	██████████
██████████	██████████
██████████	██████████
██████████	██████████

【XXXXXXXXXX】 (対面出席)

6.3 議事録

令和6年度 東北農政局管内国営事業総合技術支援業務 合同委員会	
議事録	
開催日時：令和7年3月11日(火)15:00～17:15 場 所：仙台合同庁舎A棟7階会議室、Web 会議 出席者：別紙出席者名簿のとおり	
東北農政局 農村振興部 荻野部長の挨拶後、土地改良技術事務所 小野寺専門技術指導官より資料-1を基に本業務について、続いて、 XXXXXXXXXX より資料-2を基に国営浅瀬石川二期地区の検討課題と結果報告について説明があり、質疑応答を行った。 委員等からの主な意見等は以下のとおり。	
中泉排水機場の耐震補強工事における施工計画について 資料-2：国営浅瀬石川二期地区	
XXXX 委員長	雪囲いは、強度計算によって規格等を決定すべきではないかと助言があり、設計上は強度計算を行わないという応答があった。雪囲いは任意仮設になるのか。
XXXXXX XXXXXX	取扱いは様々であり、任意仮設でも良いと考えている。強度計算は、施工者が行い、設計段階では行わないと対応させて頂いた。
XXXX 委員	中泉排水機場の工事は、様々な施工条件に制約がある中での施工計画の検討であった。現地調査から2回の打合せを行う中で、様々な工夫が取り入れられ、実効性のある計画になったと感じている。津軽土地改良建設事務所と XXXXXX XXXXXX の御尽力に感謝申し上げる。 一点、補足する事項がある。せん断補強筋の施工について、計画の途中では約1万本であり、かなり多数である。削孔した際に、既設の鉄筋に干渉することが推測される。その場合には他の位置に再施工しなければならないが、その際の適用範囲の標準化や干渉孔の閉塞方法と施工費について、検討と準備を予め行って頂ければ、現場での施工を円滑に進めることが可能になると考えている。
XXXX 委員 (欠席につき コメント代読)	中泉排水機場の耐震補強は、せん断補強鉄筋、建屋耐震補強、地盤改良と、それぞれはシンプルな工種でありながら、狭隘な施設内での作業、出水期の施工制限、積雪・凍結のある冬期の作業など、施工計画に工夫が必要であった。 近隣工事の施工実績の反映や、排水機場の使用休止中の天井クレーンの活用、せん断補強鉄筋の径を変更し施工本数を削減するなど、様々な観点から工夫がなされた計画になったと感じている。 設計・計画された津軽土地改良建設事務所、及び XXXXXXXXXX の皆様には感謝する。

	自身は長年ゼネコンに在籍し、施工者としての反省がある。劣化要因について、今回の様な機会があれば議論を行い、データベース化すれば良いのではないかと考える。 立場が異なるメンバーで意見を交わし、検討方針が変わることによりコンサルの方々は大変であったと思われる。 早めの段階で様々な意見を出し合い、工程、仮設や本体の劣化要因まで踏み込んで議論できる機会があれば良いと思った。
■■■委員長	貴重な意見である。 コンサルが再検討しなければならない場合もあると想定される。 ホームドクターの様な機会は、早い時期から段階を追って行う方が良いという意見である。 これについて、コンサルの立場としては如何か。
■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■	設計の早い段階で意見を頂き、仮設・施工計画を立案できることは非常に有意義である。 設計業務では仮設についての課題が残りやすいが、施工における有識者や学識経験者といった様々な方に見て頂いたことが非常に良かったと思っている。
■■■委員長	今回の取組みは価値があったと思われる。
続いて、■■■■■■■■■■より、資料-4を基に国営母畑地区の検討課題と結果報告について説明し、質疑応答を行った。 委員等からの主な意見等は以下のとおり。	
千五沢ダム取水塔の補修工事における施工計画について 資料-4：国営母畑地区	
■■■委員	供用中ダムの取水塔補修工事を、非かんがい期の4ヶ月という短期間で実施するという厳しい条件での施工計画の検討であった。特にホロージェットバルブの更新作業では、上流側からのクレーンでは搬出が出来ないため、放流トンネルを経由して下流の南北調整池から搬出入を行う計画である。現地調査により現況を把握した上で、詳細な施工計画を検討された。これに関し、既設アンカーを利用して吊り上げ、天井にあと施工アンカーを設置して機器の出し入れを行う計画であるため、今後も現地状況を確実に確認し、安全性を十分に検証した上での計画になるように願います。 取水塔上屋とゲート開閉器については、ダム湖にクレーン台船を浮かべ、クレーンでの撤去更新である。油の漏洩等の懸念があり、環境影響も今後の検討課題ではないかと考える。

委員	昨年度のホームドクター業務から参加した。昨年から意見交換する中で、多岐に渡る工種からブラッシュアップされた。機械設備の観点から常に感じている所がある。新設工事や修繕工事を行う際、メンテナンスを考慮した設備があれば工程短縮や費用低減に繋がるが、考慮されていなかった経験がある。今回の上屋については、塔柱上の六角形であり面積の制約がある中で最大限に拡張して頂いたが、メンテナンスを考慮した際、計画の扉では後年に設備を出し入れ出来ないため、扉サイズについて助言した。 工程に関しては、単年度でこれらの作業量を実施するのは厳しいと考えている。電気設備等は現段階では検討されていないため、新年度以降の設計では詳細に精査して、工事発注に向けて検討して頂きたい。
	3次元FEM解析に関しては、解析条件等について委員から精査して頂いた。時間を要する解析を一回で成果を上げることができ、感謝している。ホロージェットバルブの搬出入に関しては、条件がタイトであり、困難な施工になるが、施工に詳しい委員から御意見を頂き、この様な計画を立てることができた。さらに、この計画に対して指導助言を頂くことにより、詳細計画を進めるに当たって実現性が高まった。有意義な打合せであった。感謝申し上げる。
委員長	資料P. 11 塔上ガータ桁材の部分取外しについて、3次元FEM解析の結果がNGになり、塔上ガータを取外す施工を断念した結論である。シリンダーゲートの作業が困難になると考える。資料P. 7 シリンダーゲート扉体は黒文字で表記されているが、シリンダーゲート扉体は手を付けない結論になったと捉えて良いか。
阿武隈土地改良 調査管理事務所 山口課長	当初計画においてシリンダーゲート扉体は整備する予定であったが、地区の総事業費が厳しい状況であり、地元等と調整を行い、整備を優先する機器を検討した結果、故障しているシリンダーゲート開閉装置を最優先とした。以外の扉体等については、耐用年数を考慮すると改修が必要であるが、シリンダーゲート扉体の整備は断念せざるを得なかった。
委員長	扉体は使用可能か。
山口課長	今すぐ扉体は使用不可にならないと判断している。
委員長	予算関係等があり、現時点ではこの様な対応になると理解した。 将来、シリンダーゲート扉体を整備する際、現状で不可であれば、別の補強を行って塔上ガータの取外しを行うことになる。費用を要する改修を将来に残す印象を持った。シリンダーゲート改修以外の方法を考慮する必要があると考える。 取水塔形式を止めて斜樋タイプにする現場があり、自身でも経験している。将来的には、その様な考えを持った方が良いと思われる。

おわりに	
委員長	本日の検討は以上とする。津軽土地改良建設事務所、山王海葛丸事業所及び阿武隈土地改良調査管理事務所においては、本日までに頂いたご意見、留意点等を参考に、引き続き施工計画の策定について検討を進めるようにお願いする。
	以上

6.4 検討結果とりまとめ

【浅瀬石川二期地区】

- ・中泉排水機場の耐震補強工事については、狭隘な施設内での作業、出水期による制限、積雪・凍結のある冬季での作業などの制約がある中で、様々な工夫が取り入れられ、実効性のある計画になった。
- ・せん断補強筋が既設鉄筋に干渉することへの対応や、作業の分散を考慮した工程について検討を進めていただきたい。

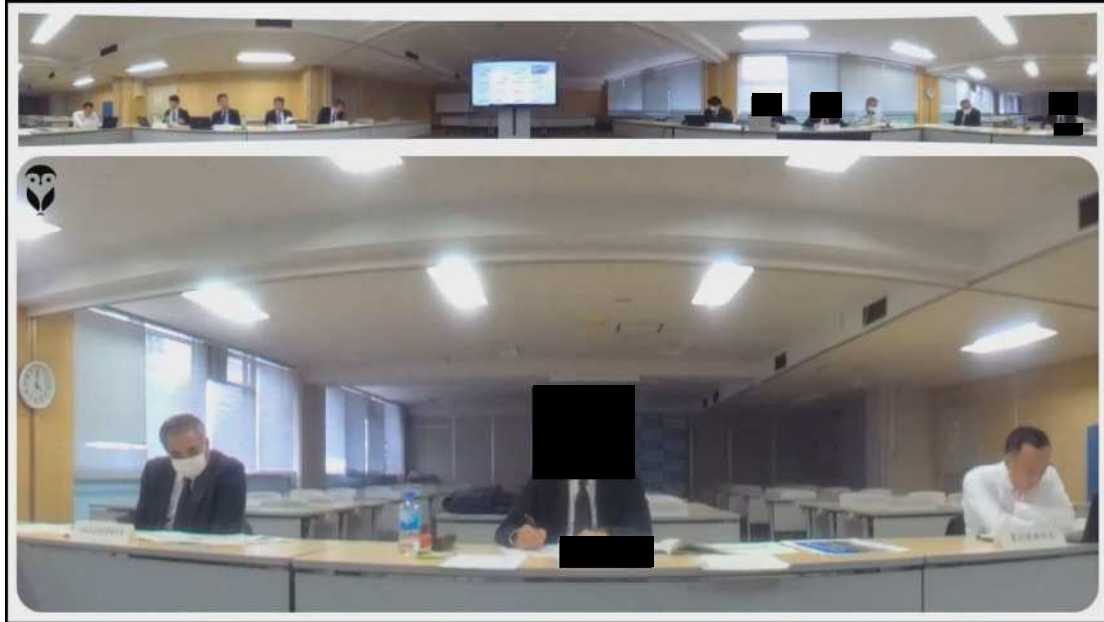
【山王海葛丸地区】

- ・設計の早い段階で意見をいただき、仮設・施工計画を立案できたことは有意義であった。
- ・土砂吐ゲートの施工を予定している2期工事は、工程がタイトになると想定される。
- ・1期工事では現場状況を確実に把握して、2期工事から本格的な作業を開始することとなった。この方針が工程計画にも反映されている。

【母畑地区】

- ・昨年度から継続しているホームドクター業務であり、多岐にわたる工種の中で計画がブラッシュアップされた。
- ・ホロージェットバルブの更新作業は、放流トンネルを経由して下流の南北調整池から搬出入を行う計画であり、現地調査により現況を把握した上で、詳細な施工計画が検討された。
- ・メンテナンス性を考慮した設備の導入により、工程の短縮や費用の低減が期待される。
- ・将来的にシリンダーゲート扉体を整備する際には、別の補強を行って塔上ガータの取り外しを行う必要がある。そのため、シリンダーゲートの改修する以外の方法についても検討する必要があると考えられる。

合同委員会



6.5 合同委員会資料

合同委員会における資料を次頁以降に添付する。

資料１：業務概要

資料２：国営浅瀬石川二期地区

中泉排水機場の耐震補強工事における施工計画について

資料３：国営山王海葛丸地区

稲荷頭首工の改修工事における施工計画について

資料４：国営母畑地区

千五沢ダム取水塔の補修工事における施工計画について